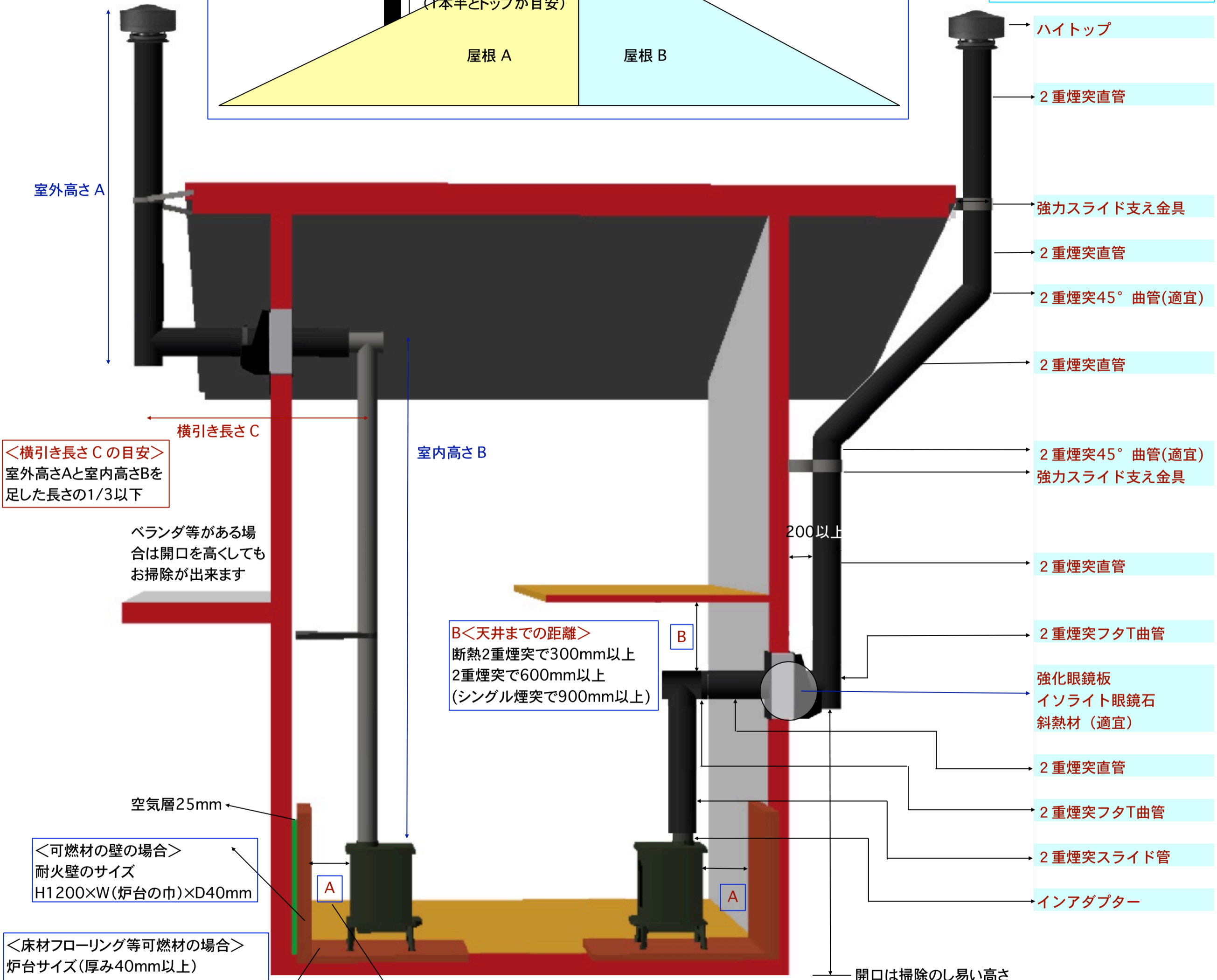


断熱二重煙突を使った推奨例



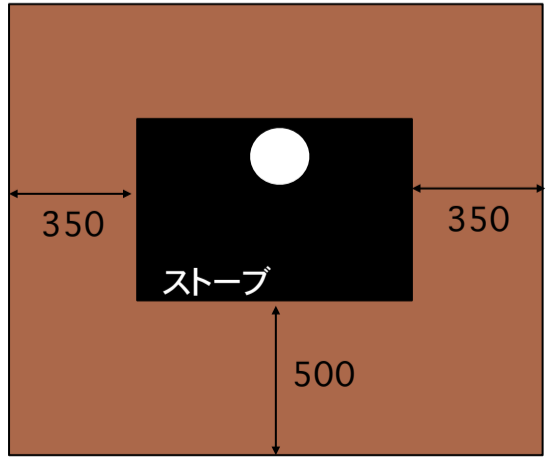
<横引き長さ C の目安>
 室外高さAと室内高さBを
 足した長さの1/3以下

ベランダ等がある場
 合は開口を高くしても
 お掃除が出来ます

B<天井までの距離>
 断熱二重煙突で300mm以上
 2重煙突で600mm以上
 (シングル煙突で900mm以上)

<可燃材の壁の場合>
 耐火壁のサイズ
 H1200×W(炉台の巾)×D40mm

<床材フローリング等可燃材の場合>
 炉台サイズ(厚み40mm以上)



A<壁とストーブの距離>
室内がシングル煙突の場合
 壁と耐火壁の間に空気層25mmを設ける場合・・・400mm
 " 設けない場合・・・600mm
 耐火壁を作らない場合・・・900mm
室内が断熱二重煙突の場合
 壁と耐火壁の間に空気層25mmを設ける場合・・・200mm
 " 設けない場合・・・400mm
 耐火壁を作らない場合・・・900mm

*弊社で扱っているストーブは A のbackより、side面の方が輻射熱は強くなります
 このページではside面の離隔は記していませんが、A の3割増し位で離して下さい
 *これらの数字は弊社で販売しているストーブの離隔となります
 他のストーブには当てはまらない場合もありますのでご注意下さい
 尚、煙突を後方排気される場合は断熱二重煙突の場合で当てはめて下さい